

科目名	工学実験			担当教員	野中清孝, 今城一夫, 鯖目正志 宮武明義, 金澤啓三		
学年	情報工学科5年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分野	専門	授業形式	実験	科目番号	07105_30670		
学習目標	近年の社会の需要に見合った最新の技術の修得や, 基礎的ながら応用範囲の広い実験テーマを用意し, 情報技術者として即戦力となり得る人材の育成を行なうとともに, これまで授業で学んだ内容を実証し, より深い理解を得ることを目標とする。						
進め方	1 班 8 名程度の 5 班に分かれ, 下記に示すの 5 テーマから各自 4 テーマを選択し, ローテーションして実験を行なう。各テーマあたり 7 週で完了する。各テーマごとにレポート提出を課す。遅刻, 欠課やレポート提出の遅れ, 未提出に関しては厳格に対処する。						
履修要件	特になし						
学習内容	学習項目 (時間数)			学習到達目標			
	<p>1. ガイダンス, 班分け(3)</p> <p>2-29. 以下の選択テーマをローテーションしながら実験を行なう。</p> <p style="padding-left: 20px;">DOS/Vパソコンの組立と設定(21)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DOS/Vパソコンの分解と組立(6)</li> <li>・動作チェック(Windowsのインストール)(3)</li> <li>・サーバーソフトのインストールと設定(6)</li> <li>・Webページの作成(3)</li> <li>・LaTexを用いた文書作成(3)</li> </ul> <p style="padding-left: 20px;">デジタル基礎画像処理(21)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツールを用いた画像処理の実践(9)</li> <li>・濃淡画像による画像処理プログラミング(9)</li> <li>・加-画像による画像処理プログラミング(3)</li> </ul> <p style="padding-left: 20px;">論理回路の製作と実験(21)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・並列先行優先制御回路の製作(6)</li> <li>・4 bitシフトレジスタの製作(4)</li> <li>・モノマルチによる発信器の製作(3)</li> <li>・7セグメントLEDによる文字表示回路の設計と製作(8)</li> </ul> <p style="padding-left: 20px;">ネットワークの基礎と応用(21)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・VisualBasicのプログラミング演習(3)</li> <li>・通信プログラムの理解と変更(9)</li> <li>・ネットワークアプリケーションの設計と開発(9)</li> </ul> <p style="padding-left: 20px;">ネットワークシステム・インテグレーション実験(21)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジュアル教材による学習(3)</li> <li>・単一セグメントのネットワーク構築(3)</li> <li>・ネットワークトラフィックの計測(6)</li> <li>・複数ネットワークの接続(3)</li> </ul> <p>30. 試験(3)</p>			<p>各テーマで与えられた実験手順を理解し, 手順に従って自分で実験を行える。得られた実験結果に対して自分自身で適切な考察が行える。</p> <p>部品構成の異なるPC/AT互換機を組み立てることで, パソコンの構造を理解する。また, 各種OS及びサーバーアプリケーションをインストール, 設定できる。 D2:1, E3:1,2, E3:1-3, E4:1-3</p> <p>画像処理の基本的な処理手順を理解するとともに, VisualBasicを用いて画像処理プログラムを作成できる。 C3:1,2, D2:1,2, E3:1-3, E4:1,2</p> <p>ICを用いた順序回路の設計・製作できる。また, 回路の誤りを自力でデバッグできる能力を身につける。 D2:3, E2:1-3, E3:1-3, E4:1,2</p> <p>インターネットの原理とプログラムインターフェイスを理解し, LANで接続されたコンピュータ間で通信を行なうプログラムを作成できる。 D2:1,2, E2:1-3, E3:1-3</p> <p>家庭や会社など, 組織内で利用されているネットワーク機器を用いて, ネットワークに関する理論や利用知識を理解するとともに, 実際に様々な接続によるネットワーク構築や設定を行なうことができる D2:1, E2:1-3, E3:1-3</p> <p>実験内容が身に付いているかを確認する。</p>			
評価方法	各テーマについて実験レポート 40 ~ 60%, 実験記録(実験実施状況, 口頭試問等)20 ~ 40%, 成果物 0 ~ 40%, 確認試験 5 ~ 10%で評価を行なう。全てのテーマにおいて合格点を得た者に対してそれらの平均点により最終的な総合評価とする。						
関連科目	デジタル回路 , ソフトウェア設計論, 情報システム , 画像工学, 通信システム						
教材	各実験テーマごとに, 自作のテキストを用意する。						
備考	特になし						